

「ものづくり企業が目指すデジタル・トランスフォーメーション」

‘デジタル・トランスフォーメーション’で描く！一歩先行く成長戦略

近年、世界では新たなデジタル技術を活用した大きなうねり、‘デジタル・トランスフォーメーション’（DX）を活用したビジネスモデルの考え方が加速しています。本事例集では、試行錯誤を繰り返しながら**DXにいち早く取り組み、新事業への進出や生産性向上、コスト削減を実現した九州企業7社の道のりと、支援機関の先進的な取組事例、DX活用のヒント**を紹介します。

※製造業におけるデジタル・トランスフォーメーション（DX）とは

研究開発、調達、製造、販売、メンテナンスといった各部門におけるデジタル化や部分最適だけでなく、ものづくりのあらゆる場面において境界なくデータを利活用することで全体最適を実現し、新たな価値を創出すること

こんな方におすすめ！

従来の手法から脱却し、新たな戦略を描きたい
DXの活用に向け、何から始めたら良いのか理解したい
DX実現のコスト、メリットや波及効果を知りたい

中小ものづくり企業は何から取り組むべきか？

今こそ変革のチャンス～先行する企業の事例から導く**3**つのヒント～

① 経営ビジョンの共有（経営層の気づき、現場の把握と理解）

- ✓ 競争相手は世界へと変化。**DXが自社の成長戦略を再構築するための武器**になるとの気づき。
- ✓ デジタル化やシステム導入には、**業務プロセス全体の見直しという経営判断**が必要。
- ✓ 経営層と現場の垣根を越えた**組織横断的な議論**が近道に。

② 人材育成（次世代人材、システムインテグレーション人材）

- ✓ 経営ビジョンを共有し、**次代を担う人材に権限を与え**、プロジェクトを任せることで成功するパターンも。
- ✓ 次世代人材が部門間の潤滑剤の役割を果たし、**現場にシステム思考が定着**するという好循環。
- ✓ システムインテグレーションによる全体最適のためには、**現場とシステムの両方を理解**する人材が必要。

③ システム構築（長期的な視野、既存技術と自社の強みの切り分け、選択と集中）

- ✓ 部分最適ではなく**DXによる全体最適化を目指すには、ある程度の期間が必要**。
- ✓ デジタルデータは**「存在しているが見えていない」**だけと気づくことで、DXへの課題が明らかに。
- ✓ デジタル化、IoT化の既存技術が使える**非競争領域と自社の強みを切り分け、明確にし、強みを磨く**。

